

関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

理工学研究科

【評価項目】6 教育内容・方法 6.1 カリキュラムの編成

総 評

三 長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み

2 教育内容・方法 (1) 教育課程等

理念・目的は明示され、かつ適切に設定されており、それに見合った実績を上げている。

留学生や企業からの社会人の受け入れも積極的であり、国際学会で発表する学生も多いことから、社会との連携、国際化の推進に対する努力を評価する。「関西学院大学研究推進機構」を窓口とした企業との共同研究や受託研究、また、特許出願などの増加は、社会と繋がりをより強く意識した教育・研究が行われていることをうかがわせる。

内部進学者の場合、研究テーマは学部での卒業研究と連続しており、カリキュラム的にも人的にも連続性があるため、円滑に高度なレベルの研究に移行できる体制を有している。後期課程では「特別研究」を通じて専門分野についての深い学識と高度な研究能力を養うためのきめ細かい個人指導がなされている。履修面に関しては、実験、演習、文献演習（計 16 単位）および講義科目 14 単位を必修としており、単位数の設定は妥当である。ただし理念に対応して、専攻横断的な講義科目の更なる強化が望まれる。